

2019年（令和元年）度 小規模多機能ホーム オリンピア神戸西 サービス評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年10月22日 (13:30～14:30)
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	7	2		11

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 新規の方の情報は体験までに全スタッフに情報共有し、体験日から全スタッフに関わり、アセスメントし、多職種で共同プランを作成する。 経過記録や業務日誌を見れば、情報収集が短時間でできるように、記録を充実したものにする。対応困難な利用者でも、全スタッフに関わりを持ち、満足したサービスを提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 新規の方の情報は、紙ベースで回覧しているが、情報共有が十分でない。積極的に情報収集しようとしていない。 体験利用者や対応困難な利用者に対しても、殆どのスタッフが積極的に関わっている。 記録漏れが時折見られるが、業務日誌と経過記録がリンクし、少しずつ充実したものになってきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	6	4	2		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	6	3		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	7	1	1	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	4	4		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①依頼元からの情報を材料にして足りない情報を詳しく聞き、本人・家族蔵、必要なサービス等の情報を元にインテーク前に多職種で話し合い情報共有をしている。②求められるサービス以上の支援を行う為、最低でも利用前に以前のサービスや意向に沿った支援を利用当初から行うよう努めている。③利用開始前から利用者の心身状態、趣味等のある程度把握し、安心して過ごして頂けるよう努めている。慣れていない時期は積極的に声掛けを行ったり、他利用者との架け橋的な役割となるようにしている。④利用者・家族に対して、真剣に向き合い不安が表出できる環境に努め、不安軽減に努めている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①十分な話し合いができていない時とできていない時がある。③遠慮したり、忙しさを言い訳にして、声掛けが十分にできていない。④ご家族と会う機会も限られており、関係を作るまでは十分にできていないことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 新規の方の情報をもっと見やすいものにする。マニュアルを作る（どこを見ないといけないか）。 新規の方が来る前に、必ずミニミーティングを開き、情報共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月22日
(13:30~14:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7	2		12

前回の改善計画
 ・多職種の視点からプラン作成ができるように全スタッフから情報共有できる場を定期的にする。・情報共有を確実にし、継続し、なおかつ統一した介護を行っていく(経過記録で確認ができる)。・割当表を元に、お互い協力しながら声を掛け合い、無駄な時間を作らないように業務に当たる。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・多職種がそれぞれの視点で関わった内容を記録するようになり、記録を通して共有できるようになってきた。その結果、統一した介護が継続できている。
 ・割り当てられた業務は確実にこなすようになってきた。声掛けもできるようになってきた。
 ・レクが少しずつ充実したものになってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	6	3		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	7	2		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	4		12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	6		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ①心身状態等の現状の把握を Dr や Ns の医療的視点からだけでなく利用者と共に Dr から Dr への視点でも行い、現時点、今後のゴールを見出すことに努めプランを立案している。②個々によって違う本人の訴えや行動には必ず意味があるという気持ちで真剣に向き合うことで、利用者が今求めることが理解できている。③本人の自己実現のためにここに合わせた関わりを常に考え、情報を共有し統一した介護ができるよう努めている。④プランの立案に対する評価を記録や会議を通して再確認し継続か新プラン立案か常にアセスメントすることで本人の自己実現と一緒に目指している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ③雑用が多く、十分に利用者の希望に応じた関わりができていない。夜勤が多いこともあり、利用者と一緒に話す時間が少ない。④一部の人だけの意見で会議が進むことがあり、自分の意見が言えていない。全ての案件で振り返りができていない。振り返る前に新たな案件が出てくる。勤務期間が短く慣れておらず発言しにくい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・割当表を元に、お互い協力しながら声を掛け合い、無駄な時間を作らないように業務に当たる。訪問を多くのスタッフが行くことにより、訪問を充実したものにする。買い物も車の運転ができるスタッフだけが行くことのないよう割当てで振り分ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月22日
(13:30~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	6	3		12

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 経過記録を充実したものにするため、繰り返し話し合いの場を持ち、皆責任感を持つようにしていく。 経過記録、利用者情報ノートを通して、情報収集を各自行い、知らない情報は積極的に収集し、統一した介護を行えるように各自が自覚をもてるようスタッフ間で教育の場を持つようにしていく。 プランやモニタリングを確認することを日常化し、利用者の近況(医療面も含め)を把握するようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 特別な連絡がない場合は朝礼をなくし、時間の効率化、各自の情報収集の責任感を持たせ、自分から情報を集めるようになった。 記録が充実してきた。連絡ノートで情報共有ができるようになってきた。それを通して、統一した介護ができるようになってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	4	4	2	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8	1		12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6	4	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	3		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①現状の把握に努めることで、本人と家族との関わりの中で「以前の暮らし方」が自然に見えてくる。②個々の疾患やADL・IADLを把握し、自立支援を目指す為にWrとNsが連携し統一した介護ができています。入浴は本人の希望に応じ、定期的に調整している。③多職種の「いつもと違う」という言葉があれば、精神的・身体的側面から一緒に考えている。④心身状態の変化に気づいた時、多職種で問題点の共有を行っている。⑤気付いた職員が即座に情報発信し、全体で協議しスタッフ全体で共通理解を持ちサービスを提供している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①夜勤が多く、日勤が少なく、必然的に関わりを持つ時間が少なくなってしまう、利用者に関する把握が十分にできていない。本人の生活史に関する情報が少なく、10個以上把握できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 朝礼の廃止もあり、記録をより充実したものにしようと皆が責任感を持つよう意識付けを行う。 経過記録、利用者情報ノートを通して、情報収集を各自しっかり行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月22日
(13:30~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	4	4	1	11

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関わる機会を増やし、新たな情報を得ることができるようにしていく。 ・利用者家族と密に連絡を取り、オリンピック利用状況や自宅での生活状況を互いに情報共有し、満足したサービスを提供していく。 ・積極的に地域資源を活用し、活用すれば、全スタッフに周知していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者との関わりが変わってきた。利用者の生活史、ニーズを知るために意味のある関わりが一部できるようになってきた。また、懸命に関わった気付きを皆に知ってもらうために経過記録にしっかり記録する習慣ができてきた。面会・見学に来た家族や知人に笑顔で挨拶できるようになってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	6	2	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	4	3	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	3	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	5	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①本人や家族と深く関わり、生活歴や趣味、人間関係等をより理解しようと努めている。②家族と連携を密にとり長期泊まり方に対しては、帰宅や面会の機会を増やすよう努めている。③本人・家族に対して、来所時や訪問時に把握するよう努めている。自宅の部屋の配置を把握し、導線を考えている。④助けてくれる近所の人や民生委員を把握している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②正社員が関わることが多く、パートの自分は十分に関わりを持っていない。④個別での地域資源の活用という認識が今ひとつない。事業所全体では把握しているが、現場のスタッフが地域と関わるのが少なく、地域資源の活用とまでは考えられていない。勤務期間が短く、十分に把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問を充実させ、どのスタッフも利用者・家族と深く関わる機会を増やしたり、生活状況を把握したり、服薬管理、買い物サービス、掃除等の生活支援ができるようにしていく。 ・利用者との連絡ノートを、独居の方用と家族がいる方用に分け、家族と密に連絡を取れるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月22日
(13:30~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	7	2		11

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・指示にはすべて理由があることを理解する。・経過記録やプランを各職員が最低限一読しておく。・利用者や家族のニーズを把握できるよう努めながら、常に新しい発想とアイデアを持ち寄り、行事やレク等で、利用者の新たな一面が発見できるようにしていく。・多職種の個々の視点をプランに反映していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種が協力し、チームとして利用者を安全・安心を支えることができている（早期発見・早期対応で命を守ることができた）。 ・どのような利用サービスでも、多職種が連携して支援できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	2	1	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	6	1	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	8	1	1	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	5	3		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①地域の情報を積極的に集め、医療ニーズが高ければ訪看を導入したり、困難事例は地域包括センターに相談するなどしている。②通いを中心にサービスを提供し、体調悪化による体調管理やレスパイトケア等での泊まり利用の調整、利用日以外にはニーズに合わせ訪問するなどしている。本人、家族の③申し送り、連絡ノート、会議等を通して情報を共有している。心身状態に異変があれば即座に判断し救急搬送を含め対応している。④常に記録やプランを確認し、利用者のニーズ・状態変化に応じて関わりをしている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①勤務期間が短く、地域の社会資源まで把握する余裕がない。④個別ニーズにおいて、柔軟に対応しているが、全体として「臨機応変」な対応が十分にできていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・利用者や家族を心身ともに支援し、多職種が協力しあい、利用者の自己実現を目指し、自立支援を行っていく。そのためには多職種で利用者や家族のニーズを把握し、満足したサービスを提供していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月22日
(13:30~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	4	2	2	11

前回の改善計画

- ・事業所内の会議は、全スタッフが積極的に参加している。外部の会議は正社員が参加することが多いが、順に参加し情報共有できている。また、必ず議事録に残し、いつでも見ることができるようにしている。
- ・その他サービス機関への会議にも積極的に参加し、経過記録に残している。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・認知症実践者研修の課題の事例に対して、全スタッフが積極的に利用者に関わり、全体として協力的になっている。
- ・研修や会議のフィードバックする機会が少ない（見る必要性を理解できておらず、議事録を回覧しても全員が見ていない）。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等）の他事業所との会議を行っていますか?	2	4	1	3	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	4	3	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?		5	3	2	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		7	2	2	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①管理者・ケアマネ・ナースが、病院MSW等との連絡調整により、情報を得、退院前カンファには極力参加している。②担当者が参加すればフィードバックしてもらい、情報を得よう努めている。③公民館の行事には極力参加している。④地域の方、利用者の友人等がランチに來たり、近くの幼稚園の子ども達との交流会があり、利用者も喜ばれている。災害時等も地域の方を積極的に避難所として受け入れている。高齢の方がオリンピアを頼り、介護相談で訪れることもある。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①②③一部の職員（正社員）が参加しており、自分は参加できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・内外の会議やサービス機関との会議に参加した内容を全スタッフにフィードバックできるよう、参加した者が必ず連絡ノート等を通して周知する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月22日
(13:30~14:30)

7. 運営

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		5	4	1	10

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・営業等を通して、地域への働きかけを行っていく。 ・利用者や家族が意見を言いやすい雰囲気・関係作りに努めていく。こちらから意見や苦情を聞いていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急ショートの受け入れで依頼があり、うち数件受け入れることができた。 ・利用者に繋がらなかった困難ケースでも、看護師やケアマネが自宅へ訪問し、家族や居宅ケアマネと一緒に今後の方向性を考える支援を行い、喜んでもらうことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		6	4	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		8	3		11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	3	3	9
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	2	4	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①オリンピアの現在のサービス内容を把握し、問題点、今後の課題について話し合っている。②③利用者の思いの表出しやすい関係性を築くことができている。意見や苦情を受けた場合、できるだけ早く話し合い、対応できるように努めている。④地域ケア会議に参加している。運推を定期的に開催し、色んな立場の人に参加していただいている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>③④地域の方と関わる機会が少なく、話し合いが十分に持てていない。一部の職員しか地域の方と関わりを持てていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急ショートを有効に活用してもらえよう、空き部屋情報カレンダーを居宅のケアマネや病院MSWに定期的に送るようになる。 ・地域で介護に困っている方や困難事例で困っているケアマネがいれば、サービスに繋がらなくても一緒にどうすればいいかを考えていく姿勢を常に持つ。 ・体験利用や緊急ショートを積極的に受け入れる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月22日
(13:30~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		5	4	1	10

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の内部研修を今後も確実に行っていく。外部研修に対しては、できる範囲でパート職員にも参加してもらい、習得した知識をフィードバックしてもらう。 ・運推も様々なスタッフが参加し、情報共有をしていく。 ・事故報告書等の再発防止策を委員会や会議を通して、スタッフ全員で考えていく。事故ゼロを目標にしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修の内容が不十分で、スタッフの知識の習得、質の向上にあまり役に立っていない。外部研修に行く機会が少なかった。 ・事故対策委員会を確実に開催できた。しかし、当事者のみの意見で、再発防止策が十分に話し合えていない。ヒヤリ・ハットが少ない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	5	4	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	3	2	11
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	4	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7	3	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①年間の研修計画を立て、定期的に行っている。②ケアマネ研修や実務者研修、多機能連絡会の研修、個人的な研修等に行っている。③地域ケア会議、地域運営推進委員会等に参加している。④事故発生時、事故報告書をしっかりと作成し、毎月1回は事故対策委員会を開催している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①特養のように研修の誘いが多くない。忙しさに負けて、自分たちで積極的に参加しようとしていない。②あまり外部研修に参加する機会がない。③勤務の都合で、参加する職員が限られている。正職員が出ることがおおく、パートは行く機会が少ない。積極性にも差がある。④再発防止策の共有が十分でないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修を質の高いものにし、スタッフの能力を高めることで、介護度が高い利用者を受け入れられる体制を作る。 ・外部研修に積極的に行き、サービスの質の向上を目指す。 ・リスクマネジメントを重視し、事故対策委員会において、当事者だけでなく全員が意見を出し、事故0を目指す必要がある。ヒヤリ・ハットを積極的に書く習慣を作る。同じ事故を繰り返さないよう周知する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月22日
(13:30~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	3		11

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止・身体拘束防止研修は定期的に行い、スタッフに再認識してもらう。プライバシーに対しては、スタッフ間で議論を重ねていく。利用者を人生の大先輩と思い、声掛けし、接するようになる。 成年後見制度等のような利用者でも最低限度の生活が送れる制度があることを、スタッフに理解してもらえるよう、カンファレンス等で伝えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止・身体拘束廃止委員会は定期的に行っているが、業務が忙しいことでイライラし、利用者には不適切なケアをしていることがある。 その人らしい生活ができるように、ご自分でできることはご自分でして頂くということが、業務優先になりできていないことがある等、過度な介護がまだ見られる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	4			11
②	虐待は行われていない	6	5			11
③	プライバシーが守られている	3	6	2		11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	1	2	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	6	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①認知症状のある方に対して、その方個々に向き合い、家族・地域と協力し、その人らしい生活が安全に送れるよう見守り介護をしている。押さえつけるような介護はしていない。②できるだけ業務優先でなく、利用者優先を心がけている。常に丁寧な言葉で話ができている。③プライバシーを守るよう常に心がけている。その場を離れる時は片付けている。⑤記録等は利用者の目の届かない所に置くようにしている。個人情報同意書に基づき管理を徹底している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>②時折、スピーチロックやニックネームで呼ぶことがある。利用者と友達のようになってしまうことがある。③入浴・排泄・更衣等の際、業務を優先し大きな声を出したり、ドアを開けたままにしたり等プライバシーの配慮に欠けていることがある。ロックせずドアを開けることがある。④認知機能の低下した独居の方の金銭管理等、早い段階で制度を利用すべきだが、まだ活用していない。⑤短い時間だが、ファイルを利用者の手が届くところに置いたままにしてしまうことがあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修や委員会を通して、「適切なケア」ができるよう、情報共有をしっかりと行っていく。 利用者を友達と勘違いせず、人生の大先輩として敬うことで適切な関わりが自然とできるようになる。 あんしんすこやかセンターの方に講師として来てもらい、研修をしていただく。 	